

万が一の地震による
新建・引渡・補修から
10年間保証



日々の生活に **あんしん** をプラス

地震 建替保証

地震建替保証を選ぶ 3つの理由

建替・補修により

**当社が
原状復帰**

+

保証限度額は
建物金額の最大

100%まで

※詳細は中面、保証限度額をご確認ください。

+

保証期間は引渡日より

**安心の
10年間**

地震に強い家のもしもに備えて、その先の 「命」「財産」「未来」を守るために

地震大国である日本では、地震で建物が崩壊しないよう 2000 年に耐震等級を定めました。

これは、地震に対する建物の強度を示す指標の1つで、住宅性能表示制度を定める品確法に沿って法定されたものです。

耐震等級3は、耐震性の中で最も高く、消防署や警察署等の防災拠点となる建物の基準となっています。

今後起こりうる地震災害に備え、安心して住み続けられる住宅には耐震性の高い家が良いと言えるでしょう。

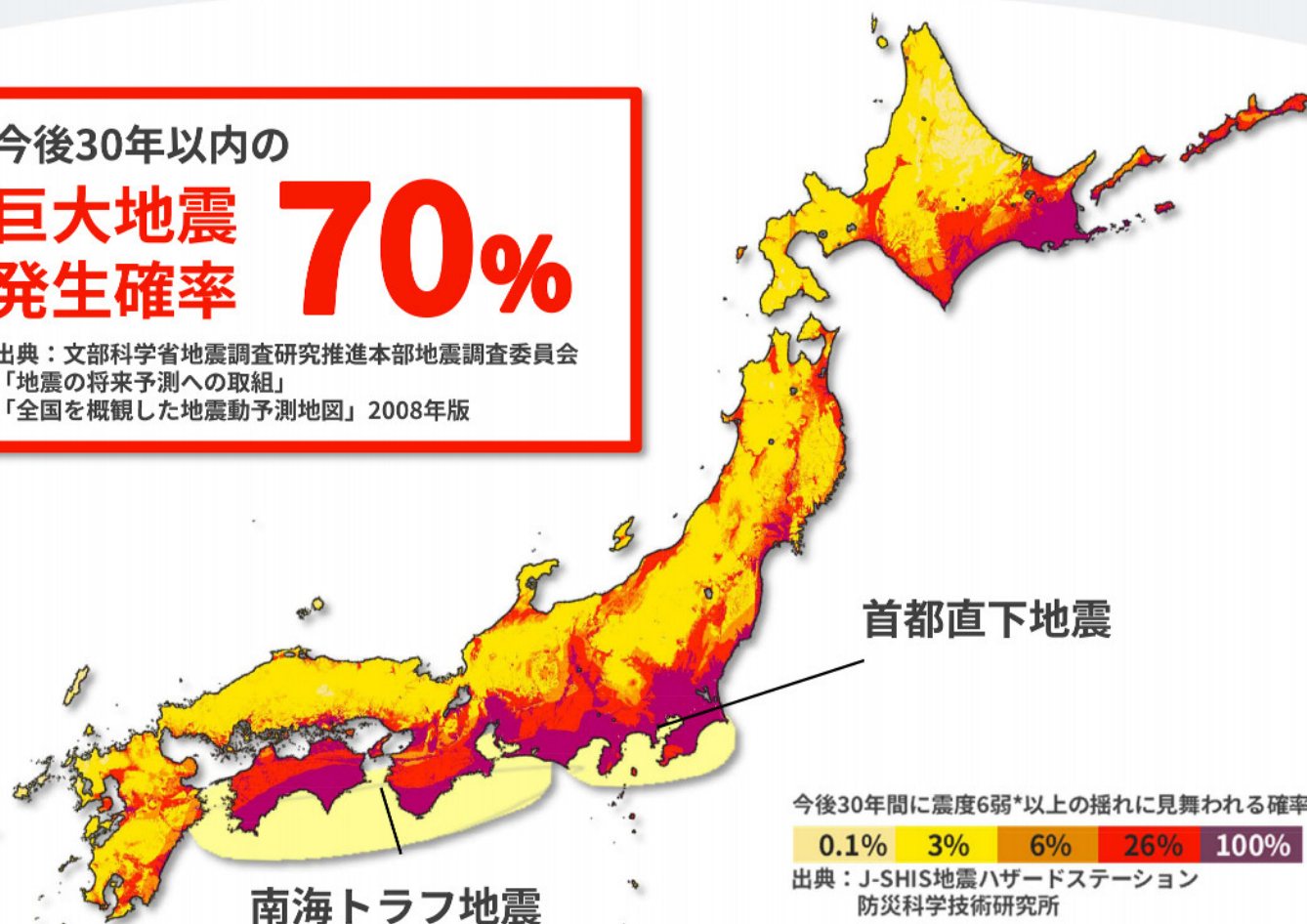
しかし、万が一の地震により建物が損壊した場合、補修・建替え費用はお施主様のご負担となります。

**地震建替保証は、地震により万が一損壊した場合に
補修・建替えを保証するサービスです。**

今後30年以内の

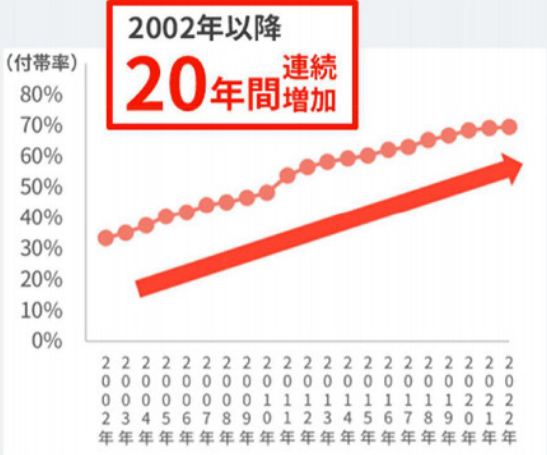
**巨大地震
発生確率 70%**

出典：文部科学省地震調査研究推進本部地震調査委員会
「地震の将来予測への取組」
「全国を概観した地震動予測地図」2008年版

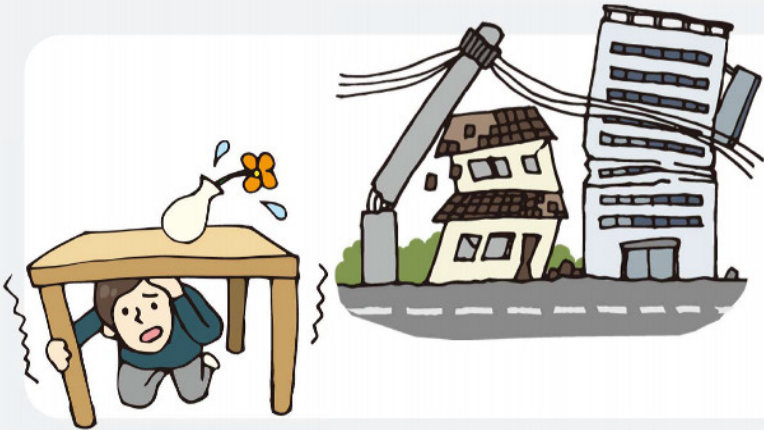


地震はいつ起きてもおかしくない？

文部科学省による今後30年間の地震発生確率では、主に太平洋側を中心に高くなっていますが、地震大国である日本では、どこで、いつ大きな地震が起きてもおかしくないと言われており、将来の大地震に対する不安の高まりから、**地震保険の加入率は年々増加**しています。



出典：地震保険統計速報-損害保険料率算出機構（2025年4月現在）



日本では、建物の倒壊の恐れのある
震度6弱以上の地震は

54 (2.3回/年)
回発生※

※現行の震度階級導入(平成8年)以降、平成31年までの約24年間 気象庁震度データベースより